

申請者の概要

① 概要

事業者名	株式会社 ○○食品			連絡先	083-000-0000		
住所	(〒 753-0077)		山口市熊野町1-10				
業種	製造業		設立年月日	昭和61年1月1日	年商		
事業内容	水産食品加工業		代表者氏名	○○ 一郎	年齢		
資本金	10,000 (千円)		従業員数 (内、パート人員数)		10 (2) (人)		
事業の沿革	年月	沿革の内容					
	昭和51年1月1日	○○太郎(父)が、山口市熊野町で創業					
	昭和61年1月1日	会社設立 資本金1,000万円					
	平成10年1月1日	一郎(長男)が代表取締役に就任					
株主構成	氏名	株数	関係	役員構成	氏名	役職	
	○○ 一郎	800	本人		○○ 一郎	代表取締役	
	○○ 太郎	500	父		○○ 花子	取締役	
	○○ 二郎	200	弟				
	その他						
	計	1,500					

注) 大企業の子会社は申請不可。

② 財務内容 (直近の決算内容)

(令和2年3月期)

(単位:千円)

資産の部計	75,108	簿外債務等	保証債務あり
負債の部計	68,025	借入金総額	30,000
純資産の部計	7,083	自己資本修正額	5,000 内容:有価証券時価の著しい下落あり

注) 簿外債務等は、現時点で判明しているものを記載する。

自己資本の修正は、保有不動産価格の下落等多額に影響するものがある場合に記載する。

③ 業績推移

(単位:千円)

	平成30年3月期 (実績)	平成31年3月期 (実績)	令和2年3月期 (実績)	令和3年3月期 (見込)
売上高	95,100	110,000	100,000	80,000
営業利益	-1,100	4,000	2,000	-3,000
経常利益	500	1,800	1,000	-3,500
当期純利益	100	900	500	-4,000
減価償却費	2,000	6,000	5,500	5,000

注) (見込) 欄は、決算確定前の数値が概ね分かる場合に記載する。

④ 銀行取引の状況

(単位:千円)

金融機関名	平成30年3月期 (実績)		平成31年3月期 (実績)		令和2年3月期 (実績)		
	借入残高	シェア	借入残高	シェア	借入残高	シェア	保全額
A銀行	10,000	90.9%	18,000	50.0%	15,000	50.0%	10,000
B銀行	1,000	9.1%	13,500	37.5%	12,500	41.7%	2,500
C信用金庫			4,500	12.5%	2,500	8.3%	1,000
合計	11,000	-	36,000	-	30,000	-	13,500

注) 保全額は、山口県信用保証協会の協会保証がある場合に記載する。(不動産担保等は記載不要。)

⑤ その他

【現状の課題と問題点等】

(1) 現状

- ・新型コロナ禍前に大きな設備投資をし、業績が大きく落ち込んだ上、その負担が重くのしかかっている。
- ・新型コロナ禍の影響により業績は落ち込んできており、資金繰りが厳しくなってきてている。

(2) 課題・問題点

- ・平成30年度に製造設備を導入したが、新型コロナ禍の影響で製品需要が落ち込み、売上高も大きく減少した。過大な設備投資が重荷になっている。
- ・売上至上主義が浸透しており、仕事なら何でも取りに行く慣行が根付いている。結果として、利益率は同業他社より低くなっている。
- ・部門毎の損益を正しく把握できていない。

(3) 改善の方向性

- ・従業員のコスト意識を高める。
- ・限界利益額及び限界利益率の高い製品に注力する。
- ・部門間の人員配置の適正化を図る。
- ・部門別損益計算システムの導入により、製品毎の限界利益をつかむ。

【沿革の補足等】

- ・現社長の長男(27歳)が次期より入社予定である。

【その他特筆すべき事項】

- ・金融支援として、資金繰りを安定させるための借換融資を計画に盛り込む予定である。

注) ①は申請者(事業者)が、②～⑤は認定支援機関が記載することが望ましい。